

世代を超えてつなげる想い

校友会会長 高井 勝弘



令和7年度も早くも後半に差しかかり、卒業生の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より校友会の活動に対し、温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学ではこの半年間、学生たちが学業はもとより、部活動や地域貢献活動など、さまざまな分野で積極的に取り組み、輝かしい成果を挙げております。特に全国大会における活躍は、私たち卒業生にとっても大きな喜びであり、世代を超えて受け継がれる「平成国際の精神」の力強さを実感いたしました。

校友会といたしましても、今後も在学生への支援や卒業生同士の絆の強化に努め、母校のさらなる発展に寄与してまいります。引き続き、皆さまのご協力とご参加をお願い申し上げます。

母校を彩る学生・卒業生の挑戦

令和7年度の幕開けとともに、本学の学生たちは、学業のみならず課外活動においても素晴らしい成果を収めております。

特に、女子硬式野球部の金田涼々選手が「侍ジャパン女子日本代表」に選出されたことは本学の誇りであり、今後のさらなる飛躍が大いに期待されます。また、柔道部の内藤智アレノ選手が全国大会で堂々の3位入賞を果たしました。

さらに、卒業生の知念ひめの選手（自衛隊体育学校所属）は、重量挙げ・全日本選手権81kg級において準優勝を果たし、ロサンゼルス五輪を見据えて今後の活躍が期待されています。

これらの成果は、卒業生にとっても大きな喜びであり、励みとなるものであります。校友会といたしましても、後輩たちの挑戦を温かく見守り、引き続き支援してまいりたいと存じます。



学校法人 佐藤栄学園
平成国際大学 校友会会報

英知

第20号

2025年9月発行

猛暑

平成国際大学 学長 柏木 俊彦



今年の夏は、本学の「情報デザイン学部」の設置認可申請の結果を待つ日々を過ごしていました。それにしましても日々、体温を超える気温となっており毎日が猛暑というよりは酷暑です。日本は春夏秋冬の季節の節目が等分にある四季の島でしたが、今の気候は、私たちが育った頃の日本の気候とは明らかに異なっています。気候の変化が自然や世相あるいは社会にどのような変化をもたらすのか、期待より不安が先に立ちます。この気候変動は人為による世界的なレベルでの変動であり、地域レベルで解決し得る課題ではなく、社会そして世界の道徳性という新しい課題を人類に課しているようであります。人類全体で解決することが要求されるグローバルな課題であります。

世界は現在まで科学技術の進歩を促進してきましたが、世界的なレベルの地平での社会学的・人文科学的な英知について、昨今の世情の下でむしろ後退しているようにも見受けられます。若い人に期待するところ大です。

ノートをとる能力を高め、維持すべき理由

校友会顧問
副学長 浅野 和生



学生の多くは、スマホの達人である。教室のスクリーンの文字を、手で書く代わりにスマホで撮り、講義を注意深く聞く代わりに、スマホで録音する。課題提出は、AIに作成を命じる。使い慣れたスマホに、新しいソフトをダウンロードし、操作に習熟することで、スマホの機能はますますよくなる。しかし、機能が高まるのはスマホであって、それを使う人間ではない。学校では、人の話をよく聞いて、内容を理解、整理し、書き方を工夫してノートを作成すべきである。そのためには、漢字を覚え、語彙を増やしておく。ノートをとり、課題を作成するために、多数の文字を書けば、手は発達して優れた道具になる。小さい時から訓練し続けると、よいノートをとる能力が不断に高まる。文字の読み書きは人間の特権である。使わなければこの能力は発達せず、低下していく。スマホの達人は、この能力獲得のチャンスを失うかもしれない。

校友会 会員紹介

4年間の学びを活かして



ヤマトプロテック株式会社

板垣 光

私は、2024年3月に平成国際大学を卒業しました。私が大学に入学したのは2020年の4月でした。当時は新型コロナウイルスが流行しており、授業がオンラインで行われるなど、今までの学生生活とは大きく異なる環境で大学生活がスタートしました。

今振り返ってみると、その経験が活きたと考えています。オンライン授業から対面に切り替わり、大学に通えるようになってからは、講義やゼミ、サークル等で積極的にコミュニケーションを取りました。オンラインで交流が少なかった分、積極的にコミュニケーションを取ること、友達、仲間を増やそうと考えたからです。その結果、ゼミやサークルで多くの仲間にも恵まれ、充実した大学生活を送ることが出来ました。

私は現在、ヤマトプロテック株式会社という総合防災メーカーの営業部に所属しています。多種多様な製品の情報から法律関係まで様々な知識が必要で、大変な場面も多くあります。そんな場面では、社内でのコミュニケーションを取り、先輩方から教えてもらうことで知識を増やし、営業へ活かしています。今後も大学で学んだ知識と経験を基に社会人として社会に貢献していきます。

無から有をつくる



埼玉県立特別支援学校 教諭
一般財団法人全日本大学バレーボール連盟 理事

勝又 禎蔵

平成国際大学にバレーボール部を創部した際の松永監督が設定したスローガンです。私は創部2年目のチームに加入し、チームを作り上げる中で、学生コーチをしていました。その時の経験は、今の私の仕事に活かすことが出来ています。新しい学校を一から作り上げる貴重な機会に立ち会っています。毎日生徒たちと生活しながら、文章の仕事や学校行事を新設したり、学校の特色となる教育プログラムを作り上げる、とてもやりがいのある仕事だと、私は思います。

学生の皆さんは、平成国際大学での4年間でどのような経験をして卒業しようと思っただけですか？就職に向けて準備をしている学生の皆さんは、そろそろ考えるところだと思います。勝負は、「どこかの大学を出たか」ではなく、「自分がどのような経験をして、その経験がどのように生かせるのか」だと思います。大学生としての経験は、どこの大学の学生も入学当初は「0」ですから、まさに、経験の無いところから、「有」をどのような形で、どのように積み重ねていくかが勝負どころです。自分が積み上げてきた「有」を胸を張って人に話せるような学校生活を送って欲しいと思います。最後に、困ったときには先輩たちを頼って下さい。「義理と人情を大切に」。

仲間と歩んだ大学時代から、挑戦し続けるエンジニアへ



日本情報システム株式会社

寺内 蒼空

大学時代を振り返ると、キャリアアップで仲間と将来について語り合い、お互いに刺激を受けながら過ごした日々が今でも強く印象に残っています。

特に、複数の企業を招いた説明会の運営に関わったことが印象深い思い出です。準備は忙しかったものの、やり遂げたときの楽しさや達成感が大きく、自信にもつながりました。

こうした活動を通じて、さまざまな人と関わることで自分の考えを伝える力が少しずつ身につけていきました。

卒業後はIT業界でシステムエンジニアとして働き、日々新しい技術や課題に取り組んでいます。

現場ではチームの協力が欠かせませんが、大学時代に培った前向きな姿勢や仲間と助け合う大切さが、今も自分の支えになっています。

将来的には、先輩や仲間を支える立場にも挑戦していきたいと考えています。これからも学び続け、技術と人間力を少しずつ高めながら、社会に貢献できるエンジニアを目指していきたいと思っております。

平成国際大学校友会ホームページや
母校の「基本情報」、「各種証明書」の発行方法などについては、
下記二次元コードを読み取ってご確認ください。



(校友会HP)



(基本情報)



(財務状況)



(各種証明申込・施設利用)



校友会成績優秀者表彰式

令和7年7月5日、校友会成績優秀者表彰式が本学で行われた。今年度は、宅地建物取引士試験に合格した法学部3年・豊田岳文さんが学業表彰を受賞。課外活動表彰には、全国大会優勝を2連覇しV4を達成した女子硬式野球部、4部リーグ昇格を果たした男子バスケットボール部、さらに関甲新学生野球連盟春季1部リーグでベストナインに輝いた法学部3年・提箸優雅選手が選ばれた。特別表彰では、ボクシング東洋太平洋チャンピオンの宇津木秀選手と、世界チャンピオンの堤聖也選手が顕彰された。宇津木選手は来校し、会場には等身大パネルも飾られ、受賞者や出席者との記念撮影で大いに盛り上がった。学生たちの模範となる活躍が期待される。



男子柔道部、関東学生柔道優勝大会 2部優勝・1部昇格！

令和7年5月24日、東金アリーナ（千葉県東金市）で開催された関東学生柔道優勝大会において、本学男子柔道部が2部リーグで見事優勝。昨年に続き2年連続の2部優勝となり、今回1部リーグへの昇格を果たした。部員たちの努力と団結の賜物であり、1部リーグでもさらなる活躍が期待される。



剣道部、歴代最多5名が 全日本学生選手権大会へ出場！

令和7年5月に開催された関東学生剣道選手権大会にて、男子4名、女子1名の合計5名が全日本学生選手権大会の出場権を獲得した。男子は6名中4名が出場権を獲得し、関東の97大学中出場率1位を記録。剣道部として過去最高の成績を収めた。



大学データ 令和7年3月末現在

公務員合格一覧

【国家公務員】 10名

裁判所事務官1名・刑務官4名・国税専門官1名・労働基準監督官1名・東北公安調査局1名・防衛省自衛隊1名・福島地方検察庁1名

【地方公務員】(行政職) 14名

青森県庁1名・東京都庁1名・特別区(足立区)1名・特別区(練馬区)1名・狭山市役所1名・八潮市役所1名・いわき市役所2名・古河市役所1名・土浦市役所1名・松戸市役所1名・八戸市庁1名・おいらせ町役場1名・若狭町役場1名

【公安職】(警察官) 23名

警視庁4名・埼玉県警11名・埼玉県警察事務職員1名・神奈川県警3名・群馬県警2名・栃木県警1名・福島県警1名

【公安職】(消防官) 2名

さいたま市消防局1名・野田市消防本部1名

【教員】 20名

茨城県特別支援学校(本採用)1名・臨時採用19名

公務員・主な就職先

法学部

業種等	人数
国家公務員	9
地方公務員(行政職)	14
地方公務員(公安職)	23
運輸	1
卸売	4
金融	5
小売	3
サービス	6
製造	1
保険	1

※民間企業は一部抜粋

スポーツ健康学部

業種等	人数
国家公務員	1
地方公務員(公安職)	2
運輸	1
卸売	3
小売	4
サービス	8
製造	1
倉庫	1
その他	2

卒業生満足度調査(2025)

本学では、卒業生の皆さまを対象に、在学時の教育内容や施設・設備、課外活動、就職活動などの満足度や、大学へのご要望についてアンケートを実施しております。

右の二次元コードからご回答ください。

先着50名様には、クオカード(1,000円分)を進呈いたします。

回答締切：令和7年10月31日(金)



平成国際大学 大学祭のご案内

令和7年(2025年)11月8日(土)・9日(日)に開催します。詳しい情報は、大学祭ホームページ(現在準備中)にて順次お知らせします。

校友会では、サロンを設置予定です。卒業生の皆さまもぜひお越しください。

右の二次元コードから最新情報をご覧くださいませ ▶



新たな挑戦と成長の軌跡

平成国際大学男子バスケットボール部は強化部となってから、めざましい成長を遂げていることをご存知でしょうか。2023年に強化部として再スタートを切った私たちは、創部から25年の時を経て、新たなステージへと踏み出しました。

厳しい現実と部員たちの決意

私たちが所属する関東大学バスケットボール連盟には、1部から5部まであり、全108大学が加盟しています。その中で最も下位に位置する5部リーグには、48ものチームがひしめき合っています。強化部として再始動した2023年度も、私たちはこの5部リーグからの挑戦でした。

当時の部員は、4年生

4人、3年生3人、2年生3人、1年生1人の計11人。少ない人数で、私たちは高い壁に挑みました。2023年度は公式戦や練習試合を含め、なかなか勝利を手にすることができず、涙を飲む日々が続きました。しかし、選手たちは決して下を向きませんでした。

主体性から生まれた未来への土台

「部活動を学生自身で主体的に運営する」というモットーを掲げ、選手たちはひたむきに活動を続けてくれました。選手一人ひとりが練習メニューや戦略について意見を



法学部 2年
小原強さん

し合い、議論を重ね、チーム全体で勝利を目指す姿勢を強めていきました。残念ながらこの年の結果



4部昇格戦後の集合写真

はついてきませんでしたが、この経験はチームの結束力を高め、次のステップアップに繋がる確固たる土台を築いてくれたと思っ

未来を拓いた勧誘活動と飛躍

強化部として再始動してからは、特に、高校生の勧誘活動に力を入れました。

各高校の先生方に多大なお力添えをいただき、多くの高校や大会を訪問することができました。その結果、私たちの熱意が伝わり、2023年度には10人以上の選手が本学への進学を決意してくれました。

在学生が築いてくれた土台に新戦力が加わった2024年度では、5部リーグを第3位で通過することができました。その勢いそのまま4部リーグとの入れ替え戦に臨み、激闘を制して目標であった4部リーグ昇格を果たしました。

今年度においてもありがたいことに、さらに10名以上の新入生を迎え入れることができ、現在では総勢25名の部員で日々練習に励んでいます。私たちはこれからも、バスケットボールを通じて「主体性を育む」ことを大切に、感謝の気持ちを持って、応援してくださる皆様へ感謝をお届けできるよう、さらなる高みを目指してまいります。

主体性を育み、人間性を養う

男子バスケットボール部



集合写真

キャンパス今昔物語

● ふたつの視点でたどるキャンパスの空と道 ●

旧



新

